



文化博物館だより 第329号

2010年5月27日

みなさん、こんにちは。五月も残りわずかになりました。少し前は蒸し暑く、夏の気配さえ感じられたのに、ここ数日は低温注意報がでるほどの涼しさ。みなさん、体調を崩さないように、お気を付けてくださいね。

● 作家が自作を語る —松本雄治彫刻展、ギャラリートーク—

5月22日(土)・23日(日)にわたり、松本雄治先生によるギャラリートークが行われました。

今回の主な出品は、ブロンズやテラコッタのもの。ひとめ見てテーマの「豊饒の女神」であるとわかるものもありますが熱せられた気泡が今にも吹き出してきそうなブロンズの作品《カオスポット》も、女神のひとつの形であるというふうに松本先生は説明されました。



《カオスポット》の説明をする松本先生



サイン会

また、お客さまからの「鳥など生き物が作品に登場するのは、なぜ？」という質問には、「人間は偉そうにしているけれど、万物に魂があるというアニミズムの考えを身近に感じ、生き物たちにも(作品に)参加してほしいと思って」と答えていらっしゃいました。トークの終了後は、図録など購入して下さった方にサイン会もあり、作家とのひとときを皆さんに存分に楽しんでいただきました。

※『天地をひらく - 豊饒の女神の世界 - 松本雄治彫刻展』は、6月13日(日)まで開催。

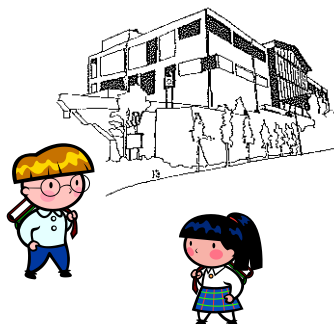
● トライやるウィークを前に

昨年は新型インフルエンザの影響で時期がずれましたが、今年度も6月1日～4日の日程で就業体験のため、当館でも市内の中学生6名の受入れを行います。

受入れの前には、学校の先生が打合せに来られるほか、中学生が個人で事前にあいさつに来館し、自己紹介や意気ごみを作文して提出してくれることもあります。今年のメンバーの作文では、「この仕事はどういう苦勞をするのか知りたかった」という子や、「前々から文化博物館が大好きで、何回か通っていた」という熱心な子も。

今年の体験は、受付、監視、施設管理、ボランティアとの関わりや学芸員の仕事についてのお話など、様々な業務を少しずつ体験してもらうことになっています。

4日間の短い期間ですが、皆さんが来館されたとき、もし中学生を見かけたら、温かく見守って、そして「しっかりやってる?!」など声をかけてみてくださいね!



唐突で
すが…!

● 「5分では遠すぎる」 ～館長のTwitter(つぶやき)～

タイトルを見て、ハリイ・ケメルマン「九マイルは遠すぎる、レイモンド・チャンドラー「長い別れ」の台詞「ギムレットには早すぎる」、蒼井上鷹「九杯目には早すぎる」を連想された方は、かなりのミステリー通かもしれない。



「5分」というのは文化博物館までの「JR・山陽電鉄明石駅より北へ徒歩5分」の5分である。先日、「5分以上かかりますね」と言われた。確かに、今エレベーターの設置工事をしている(ご迷惑をおかけしています)、館へは少し遠回りをしなければならない。だから、現状での5分では、やっぱりしんどい感がある。

かと言って10分では駅から「遠い」という印象を与えてしまう。少しでも館に足を向けてもらえるように、エレベーターができるまでは(7月中旬完成予定です)、お許しをいただいて、「あしながおじさんで5分」と考えてください。

ところで、ハリイ・ケメルマン「九マイルは遠すぎる -The Nine Mile Walk-」。ニッキイ・ウェルトという安楽椅子探偵が、「九マイルもの道を歩くのは容易じゃない、ましてや雨の中となるとなおさらだ」という言葉から驚くべき推論を行う不朽の名作。

● 6月のイベントのご案内

さおり織でティーマット作り 6月18日(金) 午前10時～正午 費用：200円
おひとり約30分ずつ(30cm×20cm程度の大きさ)

布ぞうり作り 6月20日(日)午前10時～午後3時 費用：300円
持ち物：昼食、針、糸、はさみ、定規、布(Tシャツで3枚程度の量)
※布は裂いて持参してください



→裂き方：幅5～6cm(薄い布だと8cmくらい)×長さ60～120cmに切るか、
もしくはのべ25～30mくらい

十二単・鎧の着付け 6月12日(土)、17日(木)、27日(日)
各日、①午後2時～ 十二単1名 鎧1名 ②午後2時40分～ 十二単1名 鎧1名
対象：中学生以上で、身長130cm以上。体力的に着付けに耐えうる方
注意：☆髪の設定はありません☆写真撮影は同伴の方をお願いします☆十二単の方は肌襦袢があればご持参下さい☆Vネックの襟のあいた服でそでのあるものを下に着用のこと

申込は、すべて6月1日(火)午前9時から電話で受付。参加には、別途観覧料が必要です

前号、森本さん担当の「博物館だより」はいかがでしたか？ニューフェイスを迎えて、「博物館だより」にも新風が吹きこまれます！…そして、今号は浮田(うきだ)館長も登場！なんだか賑やかになってきた「博物館だより」ですが、より文博に親しんでいただけるように頑張って発行していきますので、どうぞよろしくをお願いします。